

## 令和6年度 学校評価

### 1 学校目標

神社神道を建学の精神とし敬神崇祖を教育の根幹として「浄・明・正・直」の心を養う。  
生徒の才能と適性を開発し、学力・体力・気力の増進を図り個性あふれる心豊かな生徒を育成する。

### 2 中期目標

#### 1 学校運営

- (1) 神社神道の精神である「浄明正直」の実現
  - ア、学校行事を通して神社神道の精神を学び、成長の糧とする
  - イ、奉仕活動を積極的に行い奉仕の精神を養う
  - ウ、挨拶を積極的に行う
- (2) 教員研修の充実
  - ア、教科ごとに学内で公開授業を実施し教科指導力を向上させる
  - イ、外部の研究会や研修会などに各教科が積極的に参加
  - ウ、外部講師を招き学校現場においてのタイムリーな課題・問題について職員全員対象での研修会を実施
  - エ、ICT教育関連の研修や研究授業に積極的に参加し機器の利用能力を向上させる
  - オ、新任教諭による研究発表会
- (3) 学校施設の充実
  - ア、学習施設の整備充実
  - イ、校内学習補助機材等の充実
- (4) 危機管理体制の確立
  - ア、災害時、管理マニュアルの更新
  - イ、水、食料の備蓄を実施
  - ウ、防犯訓練・避難訓練の実施

#### 2 基本的生活習慣の確立

- (1) 人権教育
  - ア、生活実態調査
  - イ、人権教育HRの実施
  - ウ、生徒対象人権教育研修会の実施
- (2) 生活指導
  - ア、学校外危険箇所、正門での登下校時の指導
  - イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態アンケートの実施
  - ウ、全校生徒対象の校長講話ならびに生徒生活指導部長からの注意、指導
  - エ、服装、頭髪指導、及び公共のマナー、交通マナー向上の指導
- (3) 講演会、講習会の実施
  - ア、薬物乱用防止教室
  - イ、防犯教室
  - ウ、人権研修会
  - エ、ネットトラブル防止教室
  - オ、思春期教室
  - カ、自転車通学者講習会
  - キ、AED講習会

### 3 学力向上と進路

- (1) 教科指導の強化
  - ア、教科内での教員研修会の実施
  - イ、通常授業や各種講習の指導を通じて指導力の向上
- (2) 英語教育の強化
  - ア、高校在学中の英語検定2級合格を目指す
  - イ、Naniwa Global Academyの実施
  - ウ、語学研修の実施
  - エ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励
  - オ、浪速国際コースでの実践力強化
- (3) 講習等の実施
  - ア、始業前の学習指導
  - イ、日常の放課後講習とその後の自習指導の実施
  - ウ、長期休暇中での講習
  - エ、多聞合宿の見直しと内容の充実
  - オ、夏期特別選抜合宿の実施
- (4) ICT教育の推進
  - ア、ICT関連のICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加
  - イ、ICT機器を活用した本校独自の研究授業実施
- (5) 将来の進路選択に関する意識付け
  - ア、大学入試改革・学習指導要領改訂への対応
  - イ、各大学・専門学校関係者による校内・校外での進路説明会・キャリアガイダンスの実施
  - ウ、各大学で開催されるオープンキャンパス、セミナーへの積極的な参加
  - エ、外部講師を招いての受験対策講義
  - オ、HR等の時間での進路説明会
  - カ、思考力・判断力・表現力の育成

### 4 保護者地域に開かれた学校づくり

- (1) 保護者による授業参観と懇談
  - ア、授業参観の実施
  - イ、各学期に行われる三者懇談会
  - ウ、学期末に行われる成績懇談会
- (2) 保護者との連携と情報発信
  - ア、担任と保護者との連携
  - イ、保護者へ学校連絡網システムやホームページによる情報発信
  - ウ、保護者対象進路説明会の実施
  - エ、高校生活支援カード作成による連携
- (3) 地域との連携
  - ア、大和川中学校区のイベントへの参加
  - イ、地域主催「区民まつり」「福祉祭り」「住吉区民コンサート」等の参加
  - ウ、吹奏楽部定期演奏会(フェニーチェ堺)
- (4) 奉仕委員会
  - ア、地域での奉仕活動・神社奉仕
  - イ、近隣の老人ホーム慰問

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p><b>○生徒</b> 自己分析と授業評価アンケートの結果、「学校生活を楽しく過ごしている」と答えた生徒の割合は、全学年の平均で昨年の85%より1%増の86%、逆に「充実感を得ていない」生徒や「不満を抱えている」生徒は、昨年度と同じ4%であった。家庭学習の時間は、高1・高2が昨年度より減少しており、今後の課題として浮き彫りになった。「将来について真剣に考えている」と答えている生徒の割合は、学校全体で79%と昨年度の77%から増加し、特に高3が95%と大きく増加した。進路指導部を中心に細やかな情報提供と担任との相談機会確保が進んでいることがわかった。</p> <p>昨年度で評価が急上昇した「工夫された授業」に関する評価は、今年度も60%以上を保っている。授業におけるICTの活用が大きな影響を与えており、板書データの共有・調べ学習・プレゼンテーション・課題の配信など、生徒自身がICTのツールを上手に活用していることが伺える。そして、「実力アップにつながる授業が多い」との評価も昨年度と同様に高い水準である。理解度を向上させ、生徒が満足する授業の展開が進んでいることが伺える。引き続き、主体的に学びに向かう力の育成、思考力・判断力・表現力の育成が重要だと分析する。</p> <p><b>○保護者</b> 全学年で授業参観を実施し、その中での保護者アンケートによると、「とても良かった」・「良かった」をあわせると92%となり好評であった。個別の意見では、「タブレットが活用されて一人一人が発言しなくてもみんなの意見を見たりできるのは良かったと思います」「クラスの皆が元気よく挨拶をしてくれて、とても気持ちのいいクラスだと感じました」「一緒に授業を受けているようなテンポの良い授業でした」などがあった。だが、「各家庭2名にして欲しい」「お昼休みの過ごし方が見たい」という意見もあり、生徒数増への対応を含めて今後検討が必要な状況もあると言える。</p> <p><b>○教職員</b> 教職員のアンケートによると、学校運営については、教職員・生徒・保護者に浸透している建学の精神を中心にした教育課程の充実、主に本校ホームページを活用した教育活動の情報発信などが、95%以上の教職員が達成したと評価をしている。一方、地域との交流は70%と低く、危機管理の役割分担の改善希望を求める意見もあった。教育内容については、ICTを活用して授業の質を高めわかりやすい授業を実践する取り組み、放課後講習などのきめ細やかな指導、進路相談などによる進路指導の充実、人権教育、情報モラル教育の内容充実などが90%を超える高い数値となっており教職員から評価されている。またアンケートから、校内研修や外部研修会へのさらなる参加を希望する教員の気持ちを読み取れる。その実現のために、すでに、土曜日の授業をなくした変則週休2日制を実施し、外部の研修に参加しやすい環境や本校での研修会を開催しやすい環境を整えは始めている。</p> <p>生活指導を中心とする日々の生活態度の改善やカウンセリング体制についての項目では、不足していると答えている教員も増加しており、さらなる改善が必要と思われる。部活動の活発さは98%の評価であり、文武両立をモットーとする本校の考えは、教職員の評価の上に成り立っていると分析できる。</p>	<p>86%の生徒たちが楽しく浪速で過ごしていることは、素晴らしいことである。但し、不満を抱えている実態の原因を取り払っていただき、楽しい思い出を持って巣立って欲しいと願います。私の時と異なり社会情勢から不安や選択肢が多彩にあることから将来について真剣に取り組んでほしいと思いますので、個々に沿ったご指導を継続してください。ICTの活用は日常生活においても不可欠な物であってツールの正しい使い方などご指導を願いますが、逆に今一つ危惧する点は言葉でコミュニケーションが図れない人が、社会人でも多くなったと感じますのでご指導をお願いいたします。保護者の方々の授業参観の評価も素晴らしいですね。此处でも記載されておりますが、タブレット云々などは自己満足のツールであって自身の意見が前に出れば素晴らしいツールだと思います。教職員の先生方には、学校運営特に生徒や保護者の方に対する対応が複雑化して、ハラメントなど一昔前では単語すら無かった時と比較にならないほどご苦労されているでしょう。よろしく願いいたします。建学の精神を基とし人として社会で通用する人材の育成をお願いいたしますが、まずは教職員の先生方が、健康な状態での生徒指導が一番ですので、上手にガス抜きをしながらリフレッシュされることを願います。</p> <p>しっかり目的意識をもってこれからの時代に必要な人材として何を学び、何を磨くべきなのかを考えながら学校生活の「質」を高めてもらいたいと思います。「学びの質と進路への自覚が着実に育ちつつある」という印象を受けましたので、今後もデータに基づいた改善を継続し、生徒一人一人の成長に繋がる教育環境の進化を期待いたします。授業参観を通して学級内の活気と規律ある雰囲気は保護者に伝わり、満足度がもっと高まったと思います。保護者の関心が授業以外の「生活の一コマ」にもあるということは、学校生活全体に対する信頼と関心の高さの裏返しだと感じますので、今後は今まで以上に保護者の皆様に活動に参加していただける様に考えていきたいと思っています。</p> <p>今の自分に何が必要なのか、これからの時代に何が必要なのかを真剣に考えてもらいたいと思います。勉強やクラブ活動・友人関係やその他の活動など大いにチャレンジしてたくさん経験をさせてもらいたいと思います。また、最近になって登校時・下校時に挨拶をしてくれる生徒が増えたように思えます。今後ももっとそういう生徒が増えていけば、素晴らしいなと思います。コロナ禍もあけ、以前の様に学校行事等が戻ってきています。今後のPTA活動をしていく中で、コロナ禍の影響等も踏まえ、今後は今まで以上に保護者の皆様に活動に参加していただける様に考えていきたいと思っています。また、授業参観、浪速祭等の行事の際も、保護者がどんどん来校できるようになれば良いと思います。</p> <p>今まで以上に学業の授業や生活指導をお願いしたいと思っています。若い教職員も増えているかと思えます。教育関係の研修会や講習会等のみではなく一般社会の事を学んでいく必要があると思います。人間としての幅を増やして、生徒への教育に生かして欲しいと思います。新型コロナウイルスの件で、いつ何がどうなるかわからない時代になりました。5G時代になる事によって、またさらなるオンライン化が勧めやすくなるかと思えます。いかなる事にも素早く対応できるように、危機管理を最大限に持って、素早く対応できるように準備していただきたいと思っています。浪速ならではの教育を進めていただきたいと思います。ICTなどのデジタル的なものだけに頼るのではなく、教員と生徒の人間としてのいい関係をもっと増やし、生活力や学力をもっと向上させる様に教育していただきたいと思います。</p>

## ○まとめ

本校の教育環境整備は更に進んでおり、内部だけでなく外部からも評価をいただいている。それは入学者数にもあらわれている。ただその人数増は、単に施設設備が豪華で完備しているだけが理由ではなく、「浪速で学びたい」ことへの支持と考えられる。その1つとして、新たなる土曜日の取り組みの3S(Saturday Something Special)の評価が高く、今後も改善発展を進めていく。

教職員はその期待にこたえるべく常に努力し、教育の中身についてしっかりと対応できている。大阪府が進めた高校授業料完全無償化は、順次適用されていきますが、この姿勢を崩しては絶対にいけないと感じている。

「主体的に取り組む力」の必要性が謳われている新学習指導要領に対応するため、生徒自身が積極的かつ能動的に「自学自習」や「探究活動」等に取り組む時間を確保することに力を注いでいる。具体的には、新たな土曜日の取り組みである3Sの中で、外部業者と連携をとり「自学自習+質問対応」を実施している。また、外部講師による130の講座を開講し、キャリア教育や探究活動をすすめている。

「生徒の面倒を徹底的に見る」を教職員の合言葉としており、生徒達の僅かな変化をいち早くキャッチすること、問題の解決へ敏速に動くこと、学校生活を安心して送るため保護者との連絡を密にとること、教員間での相談や情報共有を確実にすることを進めており、高く評価されている。そして、今後も継続していく。

区民まつりや区民フェスティバル等に参加して、地域との連携を深めてほしいと思います。また、週5日制になり多種多様なことを生徒たちは学べると思います。今後も色々なことを教育できるように努めていただきたいと思います。今まで以上に生活指導と生徒支援体制(特にカウンセリング分野)の強化をお願いしたいと思います。部活動の活発さが98%ということは、学校文化としての部活動が教育活動と強く結びついていることを示していることで、「部活動がどのように生徒の成長に寄与しているか」を見える化する取り組みも有意義のように感じます。教職員の実践力、意識の高さ、努力が着実に実を結んでいるので、研修会にこだわらず、幅広い知識を得ることで人間としての幅を増やし、生徒への教育にも生かして欲しいと思います。府内屈指の生徒数で、さまざまに目的を持ちそれぞれに未来に向け懸命に努力されている。文武両道で個性豊かに高みを目指し活動している姿は、大人の私もパワーをいただけます。これだけ多くの仲間たちと刺激しあえる事を最高のスパイスとして、今をしっかり過ごしていると感じています。浪速人気があり評判が良いとうわさを聞きます。子供を入学させ、先生方の真摯なご対応に満足しておられます。環境の良さ勉学の指導方法にもご満足されているようにお見受け致します。常に常にアップデートをなさっており、チームとして一丸になられ、生徒さんの為に懸命に指導をしている。100年の伝統と神社神道の教えを軸として真摯に日々をお過ごしになられ、私も常に勉強になっております。かくかくポジションを守り進化を追い求める姿は感銘をお受けいたします。府内トップの学校に成長しさらに高見をめざして取り組む努力は他校に絶対負けない強みかと思えます。アップデートがこれほど止まらない学校は類をみないことだと思います。神社神道の精神が学校の心臓となり脈々と置け継がれている事は日本人として誇りに感じ感動します。まだまだ努力なされる浪速さんの未来が楽しみでなりません。130講座に及ぶ外部講師によるキャリア教育・探究活動の多様な展開や、「自学自習+質問対応」の取り組みなど、生徒の主体的学びを支援する仕掛けが土曜に展開されていることは、浪速高校ならではの教育だと感じています。この「3S」を通して「主体的・対話的で深い学び」を実践することで「質問力」も鍛え、目まぐるしく変化するこれからの時代に備えることができると思えます。これからも「3S」を続けることで更なる教育の質向上を期待いたします。

3 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価	
学校運営	(1) 神社神道の精神である「浄明正直」の実現	ア、学校行事を通じて神社神道の精神を学び成長の糧とする。毎月一日の学院神社参拝、校外学習における神社参拝や伊勢修養学舎を実施	行事実施前の神道授業での事前学習の充実と実施後の変化や成果を検証し改善を行う	行事（一斉参拝・春季例祭・秋季例祭・伊勢修養学舎）と授業（神道）を連携させて実施した。春の校外学習で、高3が神戸、高2が京都、高1が奈良の神社をそれぞれ参拝した。	
		イ、奉仕活動を積極的に行い奉仕の精神を養う	神社奉仕や校外の清掃活動(学期に1回～2回)を実施	神社奉仕は7月後半に実施した。校外清掃活動は12月に実施し、80名以上の生徒が参加した。	
		ウ、積極的に挨拶をすることにより主体的に生活環境の配慮と構築を進める	教員生徒間はもちろんのこと来校者全員に対しても積極的に挨拶をする	概ね良好。外部の方々からお褒めの言葉をいただけることが多い。	
	(2) 教員研修の充実	ア、教科ごとに学内で公開授業を実施し教科指導力を向上させる	教科ごと学期に一回の研修会、反省会の実施	各教科での勉強会を実施し、授業実践につなげた。また、公開授業を複数の教科で実施した。	
		イ、外部の研究会や研修会などに、各教科で積極的に参加	各教科で年間で2、3回は参加し、教科内で情報を共有し、教科指導に役立てる	年間を通じ、各教育機関（英語先進校・探究先進校）・公開授業（探究）・予備校の研究会（共通テスト対策）などに教科から参加し、教科会議などで情報を共有した。	
		ウ、年2回程度外部講師を招き学校現場においてのタイムリーな課題・問題について職員全員対象での研修会を実施	社会的問題(人権等含む)となっているテーマについて講師を招聘しての研修を実施して、教員への意識の向上と迅速な対応が出来る事を目的とする	6月13日・11月28日・1月16日に実施をした。	
		エ、ICT教育関連の研修や研究授業に積極的に参加し機器の利用能力を向上させる	発表会、展示会へ参加 研究授業の実施	各教科ともICT機器を積極的に用いた授業展開を実施した。4月22日には教職員ICT研修会を実施した。	
		オ、新任教諭による研究発表会年間の研究研修の成果を発表する	新任教諭が存在する年に開催される	5月22日・6月10日に実施した。	
	(3) 学校施設の充実	ア、学習施設の整備充実	全校生徒、一人1台Chromebookを滞滞なく使用できる環境整備の構築	ネットワークの通信速度の増強と、自学自習用教材のソフトウェアの拡充を行った。	
		イ、校内学習補助機材等の充実			
	(4) 危機管理体制の確立	ア、災害時マニュアルを更新	マニュアルの見直しと更新	総務部が中心となり、災害時マニュアルを見直した。防災備蓄品を生徒一人にひとつずつ備蓄した。	
		イ、水、食料の備蓄を実施	新生成分を新規に備蓄する		
		ウ、防犯訓練、避難訓練の実施	大阪880万訓練の日に実施		9月3日に大阪880万人訓練に合わせて、避難訓練を行った。今年は3学年合同で行った。
	基本的生活習慣の確立	(1) 人権教育	ア、生活実態調査の実施	各学年1学期に実施	「人権アンケート」として5月24日に実施した。
			イ、人権教育HRの実施	各学年、年に2回程度実施	1年生は4月・5月・2月に、2年生は5月・12月・1月に、3年生は6月・9月に実施した。
ウ、生徒対象人権教育研修会の実施			年1回研修会実施	1年「同和教育」をテーマに10月24日実施 2年「LGBTQ」をテーマに5月16日実施 3年「思春期教室」を5月30日実施	
(2) 生活指導		ア、学校外危険場所、正門での登下校時の指導	毎日登下校時実施	計画通りに実施しており、現在のところ問題発生件数は減少傾向にある、	
		イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態調査アンケートの実施	学期に1回実施	予定通りに実施した。効果的な方法であると確信しており、今後も継続し、日々の指導を充実させていく。近年はネット上のトラブルが中心となっている	
		ウ、全校生徒対象の校長講話と生徒生活指導部長からの注意、指導	月2回の全体指導	朝礼において、毎月予定通りに実施した。	
		エ、服装、頭髪指導及び公共のマナー、交通マナー向上の指導	毎日登下校時実施	計画通りに実施した。登下校時の自転車事故の発生が増加している。	
(3) 講演会、講習会の実施		ア、薬物乱用防止教室	中高で実施	11月21日に実施した。	
		イ、防犯教室	中高1年生対象で実施	7月16日に実施した	
		ウ、人権研修会	各学年で実施	上記(1)ウに記載。	
		エ、ネットトラブル防止教室	中高合同で実施	4月6日に実施した。	
		オ、思春期教室	高校3年生で実施	5月30日に実施した。	
		カ、自転車通学者講習会	高校1年生対象で実施	1年生は4月6日に、2・3年生は4月11日に実施した。	
		キ、AED講習会	新任教員、クラブ代表生徒対象で実施	7月10日に実施した。	

学 力 向 上 と 進 路	(1) 教科指導力の強化	ア、教科内での教員研修会の実施	教科別教員研修会の実施 朝・放課後・長期休暇期間における講習実施後の小テストや模擬テスト、定期テストの結果を見て改善箇所の発見と改善に努める	各教科内で互いに授業見学を行い、授業力の向上に努めている。また、ICT機器を活用した教授法などの研究を行っている。Google認定教育者(レベル1)資格の取得を推奨し、スキル向上に努めている。
		イ、通常授業や各種講習の指導を通じて指導力の向上		
	(2) 英語教育の強化	ア、高校在学中の英語検定2級合格を目指す	英語検定を年に2回実施	英検を5月31日及び1月17日に実施。 オンライン学習アプリを効果的に用いて、英検の学習を行った。
		イ、Naniwa Global Academyの実施	海外の大学生が来日し本校生徒に対し5日間英語のみでコミュニケーションを図る指導などを行う	8月6日～10日の期間で実施し、参加者は38名であった。
		ウ、語学研修の実施	約2週間、国際社会で活躍できる人材の育成を目指し英語学習の必要性を高める	国際コースの17人が11月5日～11月18日でフィリピンに語学研修を実施した。また、3月16日～31日の日程で、カナダ・バンクーバー方面に22人が語学研修を実施した。
		エ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励	英語検定準1級またはTOEICスコア730以上を目指す	若手教員を中心に、TOEIC基準点をクリアしている教員が多くいる。
		オ、浪速国際コースでの実践力強化	浪速国際コース(コース)において、様々な取り組みを実践する	2年生では、男子1名が姉妹校のパーペチュアルヘルプ大学に1年間留学した。女子1名が短期留学。また、外国人と働く人と呼び講演会など様々な講演会やワークショップを実施し、社会に目を向けさせた。さらに、生徒からの要望で、金融に関わるセミナーを実施した。フィリピン語学研修では、様々な交流事業を実施し、架け橋としての役割を務めた。  3年生では、長期、中期で留学していた生徒が全員帰国し、様々なスタイルで進学先を決めた。関西大学や関西学院大学、同志社大学などの名門校だけでなく、外国の大学へも5名ほどが進学。
		ア、始業前の学習指導	月～金まで朝学習を行う 学年ごとに内容などの計画を立てて実施	各教科の朝テスト・英語検定や漢字検定の集中対策・新聞記事を利用した思考力養成の取り組みなどを実施した。
	(3) 講習等の実施	イ、日常の放課後講習とその後の自習指導の実施	模擬テストや定期考査における成績の向上を指標の1つとして実施	放課後講習は月火水金で実施した。 夏期講習・冬期講習を実施した。
		ウ、長期休暇中での講習の実施		
		エ、多聞合宿の見直しと内容の充実	大学入試に対応する内容で5教科を中心に実施。同時に主体的学習時間も増やす	各学年で学習合宿を実施した。大学入試を意識して、各教科(共通テストで新実施の情報含む)による内容や思考力・表現力を育成する内容で実施した。同時に、定期試験前の日曜日には学校での特訓講座を実施した。
		オ、夏期特別選抜合宿の実施	国公立大学志望者から成績優秀者を選抜して実施。3年生だけでなく、2年生でも実施	3年生は7月27日～8月4日で京都で実施。 2年生は8月1日～8月6日に多聞尚学館で実施。
	(4) ICT教育の推進	ア、ICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加。	学校訪問、研究会、展示会参加。 本校独自の研究授業の実施	6/20 DSKユーザー会 参加 7/26 関西教育ICT展 参加 10/4 EDIX関西 参加 11/14-16 Google 事例校サミット in 台湾 参加 11/26 Google for Education 事例校プログラム オンライン共有会 2024 発表
		イ、ICT機器を活用した本校独自の研究授業実施(電子黒板、プロジェクター、タブレット等)		4月22日 校内研修会(Figjam) ICTサイトの更新 その他、教員が認定教育者レベル1を取得するためのトレーニングなど

(5) 将来の進路選択に関する意識付け	ア、大学入試改革・指導要領改訂への対応	制度変更や手続き関係などの連絡や説明会を定期的実施	学期毎に進路HR(学年別)を実施し、入試方法の変更や入試制度の変更を学年で共有した。	
	イ、各大学・専門学校関係者による校内・校外での進路説明会・キャリアガイダンスの実施	進路説明会、キャンパスツアー、分野別説明会等を実施	3年生に進路説明会、進学希望対象講演会 1年生に分野別説明会を実施した。	
	ウ、各大学のオープンキャンパス、セミナー等への積極的参加	大学見学会、セミナー案内を定期的実施	オープンキャンパスやセミナー、高大接続入試の案内を各生徒に案内した。	
	エ、外部講師を招いての受験対策講義	難関国立大学を目標に外部講師を招き講義	3年生の1学期に進路説明会の一環として実施した。2学期の1Sでも実施した。	
	オ、HR等の時間での進路説明会	各学年各学期に2回程度実施	計画通りに実施した。	
	カ、思考力・判断力・表現力の育成	放課後講習や特別授業で実施	放課後の探究講座・多聞尚学館での「思考力養成セミナー」・「表現力向上セミナー」で集中的に実施した。そして、その成果として、千早赤阪村で探究発表会を実施した。	
保護者地域に開かれた学校づくり	(1) 保護者による授業参観と懇談	ア、授業参観の実施	4月下旬に授業参観を実施予定	予定通りに実施した。
		イ、各学期に行われる三者懇談会	6月と11月に実施予定	6月3日～8日、9月24日～30日(3年のみ)、10月28日～11月2日、1月24日～30日(3年のみ)に実施した。
		ウ、学期末に行われる成績懇談会	7月、12月に実施予定	7月18日～27日、12月16日～23日に実施。この他、必要に応じ、年間を通じて適宜実施。
	(2) 保護者との連携と情報発信	ア、担任と保護者との連携	欠席や遅刻をした場合の保護者への連絡	全ての担任が必ず当日中に確認の連絡を行い情報共有をしている。
		イ、ホームページ、学校連絡網システムであるclassiでの情報発信	全ての生徒・保護者と双方向の連絡が取れる仕組みを確立する	ホームページの充実を心がけ、スクールウォッチで学校での出来事を常に発信した。保護者への情報発信は、HPに加え、classiおよびclassroomを活用している。また、Instagramでの発信にも力を注いでいる。
		ウ、保護者対象進路説明会の実施	保護者対象に外部講師や本校教員にて実施	1学期に1年生保護者、2学期に全学年対象保護者にむけて実施した。また、3学期に1年生、2年生の保護者対象に本校教員による進路学習会を実施した。
		エ、高校生活支援カード作成による連携	入学時に提出し、必要に応じて適切な支援を行う	支援が必要な生徒には特別支援委員会で計画を作成し、情報の共有と共に支援を行った。
	(3) 地域との連携	ア、大和川中学校区でのイベントへの参加	積極的に参加する	今年度は参加できなかった。
		イ、地域主催「区民まつり」「福祉祭り」「住吉区民コンサート」等の参加		住吉区民センターにて、7月17日と7月24日にレインボーコンサートを実施した。また、9月15日にオータムコンサートを開催した。
		ウ、吹奏楽部定期演奏会		3月27日にフェニーチェ堺(大ホール)で実施した。
	(4) 奉仕委員会	ア、地域清掃奉仕活動・神社奉仕	各学期に1回～2回実施	地域清掃活動を12月16日に実施した。神社奉仕は7月21日～7月28日の期間に5箇所を実施した。書道部が大阪護国神社での「和プロジェクトTAISHI」に9月21日に参加した。
		イ、近隣老人ホーム慰問	年1回実施	今年度は実施しなかった。

## 4 次年度への改善・取り組みについて

### 学校週5日制に向けた土曜日の活用方法について

令和6年の2学期から開始を予定している学校週5日制について、土曜日の活用方法の検討を常に進めてい自学自習を保障する場の提供。外部委託による講座の実施。本校教員による講座の実施。クラブ活動の実施。講座内容も、教科だけでなく、探究やキャリア教育や進路ガイダンス等も取り入れ、多種多彩な内容を準備してニーズに対応できるように進めている。

3Sについては、まだまだ発展する要素がある魅力的な取り組みだと評価されている。

常に生徒のニーズをキャッチし、その取り組みを進めていく。

また、3Sのさらなる発展のためには、教職員・保護者の理解が必要であり、生徒の意欲につながることで保護者も参加できる1Sの開講も検討課題としていく。

### カウンセリングの拡充

アンケート結果を受けて、カウンセリング体制の強化を実施することとした。

入学者数増にともない、心の教育の重要性を認識し、様々な研修も重ねていくこととする。

### 危機管理マニュアルの改訂とより実践的な自然災害に対する備え等について

教職員アンケート結果を受けて、危機管理マニュアルの改訂を早急に実施することとした。

新校舎完成に伴う、教職員だけの訓練を実施し、それを新マニュアルにいかしていく。

同時に、避難訓練の方法にも改良を加える。

### 地域との交流の活性化について

学校行事については、ほぼコロナ以前に戻すことができている。ただ、近隣住民との交流等については、しばらく途絶えていたこともあり、元通りとはならなかった。

学校の運営に関連し、近隣の方のご理解、ご協力は非常に重要であるため、実施方法等を見直し、交流を活性化させる方策を検討する。

また、この取り組みも3Sとの連携を検討する。